

CV-22オスプレイの横田基地配備及びMV-22オスプレイの  
ハワイ州での事故について（要請）

平成27年5月12日、防衛省から北関東防衛局、横田防衛事務所を通じ、2017年（平成29年）後半からCV-22オスプレイを横田飛行場に配備する接受国通報があった旨の情報提供がありました。

あきる野市としては、安全保障の重要性は認識しており、CV-22オスプレイの横田基地配備はアジア太平洋リバランスの一環であることも理解できるところであります。

しかしながら、オスプレイの安全性に関する不安が十分に払拭されていない中、去る5月18日にはハワイ州のペローズ空軍基地で、米海兵隊所属のMV-22オスプレイ1機が着陸に失敗し、死者2名及び複数の負傷者が出る事故が発生しています。この事故は、横田基地へのCV-22オスプレイの配備計画が発表された矢先のことであり、市民のCV-22オスプレイに対する安全性への懸念は、大きくなっています。

また、これまで再三要請してきたように、C130輸送機等による低空飛行訓練等による騒音や部品落下に対する懸念など、市民生活への影響も広がっている中、CV-22オスプレイの配備はこの増大につながるものが憂慮されます。

このため、市といたしましては、横田基地配備に関する内容について、直接具体的かつ詳細な説明、また、国の責任においてCV-22オスプレイの安全性について、十分な説明責任を果たすよう要請するとともに、ハワイ州ペローズ空軍基地で起きた事故の原因究明とそれに基づく再発防止策、また、事故に関する迅速かつ正確な情報提供について、米軍に申し入れるよう強く要請します。

平成27年5月29日

外務大臣 岸田 文雄 様

あきる野市長 白 井

